

肺気腫の急性増悪状態

[_____]さま

【現在の状態】

- この度呼吸困難にて来院されました。原因は長年の喫煙により肺の機能が徐々に失われてしまったため、酸素をうまくとりこめず、二酸化炭素を排出できなくなっています。
- 簡単に言えば、肺はタバコによってやられてしまって、呼吸機能が落ちているために起こっています。本来の力が失われてしまっています。**肺気腫**、また COPD＝**慢性閉塞性肺疾患**ともいいますが、これは長年の喫煙で徐々に悪化した結果です。
- 運動時には安静時よりも数倍も酸素を多く必要をします。肺は生存に必須な内臓で、正常肺は運動をしても余裕があるようにできています。しかし長年の呼吸機能低下の挙句、普通に生活していても呼吸に不自由な状態が現状です。

【今後】

- 今後肺の機能が元に戻ることはあまり期待できません。肺は再生しない臓器だからです。
- はっきりしているのは、このままタバコを吸い続けると、肺機能はさらに悪化します。安静で何もしなくても息苦しくて仕方がない状態になります。その場合酸素ボンベが手放せない状態になりますし(在宅酸素療法)最終的には呼吸不全で落命します。窒息に近い状態ですので、非常に苦しみが大きい病気です。
- タバコをやめても肺機能は元には戻りませんが、それ以上進む事を防ぐことはできます。また、各種の薬剤を補助的に使うことにより、今よりははましな状態を保つことができるかもしれません。
- 基本的には、肺は長年の蓄積で悪くなっています。ちょっと入院したり投薬治療で症状は取れませんが、だからといって、今までの生活を続けているともっと悪くなり、最終的には死ぬほど苦しい状態に追い込まれます。タバコをやめて、投薬を続けることをすすめます。それが守れないのであれば、当院としては治療を継続できません。



上記内容を説明しました。

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 科